

## 【目次】

### 衛生学の研究への誘い（１）－進路の選択－

- （１－１）プロローグ -高校生世代の皆さんへ-
- （１－２）18歳で人生を決められる人ばかりではない
- （１－３）1冊の本が人生を決めることがある
- （１－４）医学部卒業者には臨床医以外の進路もある

### 衛生学の研究への誘い（２）－研究への道－

- （２－１）医学研究に身を置く生活を送るには複数の入り口がある
- （２－２）研究は勉強とどこが違うのか
- （２－３）医学部の修士課程で「研究」を学ぶ
- （２－４）医学部と他学部の修士課程の違い
- （２－５）衛生学の研究経験者の人材ニーズ
- （２－６）医学部の博士課程と学位
- （２－７）博士課程学生の「経済」と「将来」
- （２－８）医学科の皆さんへ -研究を始める時期は早い方が良い-

### 衛生学の研究への誘い（３）－名市大衛生学教室における研究－

- （３－１）名市大環境労働衛生学分野（衛生学教室）の研究テーマ
- （３－２）衛生学の研究スタイル
- （３－３）新たな研究動向-エクスポソーム

### 衛生学の研究への誘い（４）－化学物質への「曝露（ばくろ）」－

- （４－１）身の回りに存在する化学物質は必ず身体にとりこまれる
- （４－２）化学物質が身体に入るとは健康に悪影響があることとイコールではない
- （４－３）身体にとりこんだ化学物質を調べるにはどの生体サンプルが適切か
- （４－４）農薬の体内摂取量の管理

### 衛生学の研究への誘い（５）－殺虫剤のバイオモニタリング－

- （５－１）農薬の体内摂取量基準値設定の考え方
- （５－２）バイオモニタリング
- （５－３）尿中の殺虫剤由来物質のバイオモニタリングとその結果の解釈
- （５－４）殺虫剤由来物質のバイオモニタリング結果をどう活かすか
- （５－５）個人のレベルでは見えにくい健康影響を研究する意義

## 衛生学の研究への誘い(6)－有機リン系殺虫剤のバイオモニタリングの課題と

### 研究－

- (6－1) 尿中排泄されるジアルキルリン酸の測定によるバイオモニタリング
- (6－2) ジアルキルリン酸を評価に使う場合の課題
- (6－3) 尿中に排泄される有機リン系殺虫剤分解物の基準値はできないか
- (6－4) 有機リン系殺虫剤分解物の親物質を探る

## 衛生学の研究への誘い(7)－子どもの環境と健康の関係に関する研究にとりく

### む－

- (7－1) 未来の子どもたちによりよい環境をバトンタッチする
- (7－2) まとめ -社会医学、特に衛生学の研究のやりがい-
- (7－3) エピローグ -お礼のご挨拶-